

A. 主な動き

1. 内政

▼4日、フィラト内閣は就任100日のレポートを提出
・経済分野における状況を俯瞰、政府優先政策として欧州統合・外交政策、経済危機対策、経済成長促進、社会・保健医療、司法改革、地方分権促進、再統合（沿ドニエストル問題）を列挙。

〔経済〕

- ・2009年のモルドバ経済は、過去15年で最悪の落ち込みを記録。
- ・2009年1－9月期のGDPは、前年同時期比で7.7%減少。
- ・輸出及び輸入は1－10月間にそれぞれ24.2%及び36.9%減少。投資額は1－9月間で42.5%減少。1－10月期の工業生産額は、前年同時期比で24.3%減少。2009年1－9月期の農業生産高は、前年同時期比89.8%。
- ・1－10月期の歳入は前年同時期比で8.6%減少。共産党

政権が給与・年金額を増額したため、歳出は3.7%増加。

・IMFとの協力再開、EU、米等からの資金援助を評価。また、教員給与の増額、出生手当の増加などの社会保障分野での成果もアピール。

〔政府優先政策・外政〕

- ・欧州統合はモルドバのゴール。
- ・政府はEUメンバー国との対話を強化。
- ・政府は、東方パートナーシップ及びバイ・マルチの枠組みで提供される発展のための機会を活用する。
- ・モルドバはエネルギー憲章条約に加盟した。
- ・米国との関係は外交政策の優先事項の1つ。
- ・ロシアはモルドバにとって重要なパートナー。

2. 経済

・4日、ラザル副首相兼経済相は2010年第1四半期のロシア天然ガス料金が1千立方メートルあたり233ドルになり、前年第4四半期と比べて約40ドルの上昇になると発表。

B. その他の動き

1/8 (金)

・International Living 紙は、生活の質に関する国際格付けに

おいて、モルドバを194ヶ国中55位と評価。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」（ロシア語読み）を暫定的に「キシナウ」（モルドバ語読み）と標記しています。
(了)